

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	環境工学
科目基礎情報						
科目番号	1494F03			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	化学コース			対象学年	4	
開設期	前期			週時間数	2	
教科書/教材	改訂9版環境社会検定試験eco検定公式テキスト, 東京商工会議所, 日本能率協会マネジメントセンター					
担当教員	大田 直友					
到達目標						
1.持続可能性を理解し、環境問題の歴史を説明できる。 2.地球の物理・化学・生物的特徴や環境に関する社会の現状と課題を説明できる。 3.地球温暖化、エネルギー問題、生物多様性、循環型社会、化学物質、放射能、地域や地球規模の環境問題について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。 4.環境保全の基本原則、計画、環境基準、環境保全の手法、環境教育、環境影響評価について現状と課題を説明できる。 5.環境保全における行政、企業、市民の協働およびそれぞれの役割を理解し、説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1.持続可能性を理解し、環境問題の歴史を説明できる。	1.持続可能性を理解し、環境問題の歴史を詳細に説明できる。		1.持続可能性を理解し、環境問題の歴史を説明できる。		1.持続可能性を理解し、環境問題の歴史を説明できない。	
2.地球の物理・化学・生物的特徴や環境に関する社会の現状と課題を説明できる。	2.地球の物理・化学・生物的特徴や環境に関する社会の現状と課題を説明できる。		2.地球の物理・化学・生物的特徴や環境に関する社会の現状と課題を説明できる。		2.地球の物理・化学・生物的特徴や環境に関する社会の現状と課題を説明できない。	
3.地球温暖化、エネルギー問題、生物多様性、循環型社会、化学物質、放射能、地域や地球規模の環境問題について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。	3.地球温暖化、エネルギー問題、生物多様性、循環型社会、化学物質、放射能、地域や地球規模の環境問題について環境保全の視点から現状と課題を詳細に説明できる。		3.地球温暖化、エネルギー問題、生物多様性、循環型社会、化学物質、放射能、地域や地球規模の環境問題について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。		3.地球温暖化、エネルギー問題、生物多様性、循環型社会、化学物質、放射能、地域や地球規模の環境問題について環境保全の視点から現状と課題を説明できない。	
4.環境保全の基本原則、計画、環境基準、環境保全の手法、環境教育、環境影響評価について現状と課題を説明できる。	4.環境保全の基本原則、計画、環境基準、環境保全の手法、環境教育、環境影響評価について現状と課題を詳細に説明できる。		4.環境保全の基本原則、計画、環境基準、環境保全の手法、環境教育、環境影響評価について現状と課題を説明できる。		4.環境保全の基本原則、計画、環境基準、環境保全の手法、環境教育、環境影響評価について現状と課題を説明できない。	
5.環境保全における行政、企業、市民の協働およびそれぞれの役割を理解し、説明できる。	5.環境保全における行政、企業、市民の協働およびそれぞれの役割を理解し、詳細に説明できる。		5.環境保全における行政、企業、市民の協働およびそれぞれの役割を理解し、説明できる。		5.環境保全における行政、企業、市民の協働およびそれぞれの役割を理解し、説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A-3 学習・教育到達度目標 D-1 学習・教育到達度目標 D-4						
教育方法等						
概要	環境と経済の両立をさせた「持続可能な社会」を担える人材をめざして、環境分野全般にわたる幅広い知識を身につける。					
授業の進め方・方法	小テスト、レポート、プレゼンで評価する。					
注意点						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	持続可能性と環境問題との歴史	1.持続可能性を理解し、環境問題の歴史を説明できる。		
		2週	地球の基礎知識	2.地球の物理・化学・生物的特徴や環境に関する社会の現状と課題を説明できる。		
		3週	社会の現状：人口、経済、食料、資源、貧困	2.地球の物理・化学・生物的特徴や環境に関する社会の現状と課題を説明できる。		
		4週	地球温暖化	3.地球温暖化について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。		
		5週	エネルギー問題	3.エネルギー問題について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。		
		6週	生物多様性とその危機	3.生物多様性について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。		
		7週	地球規模の環境問題	3.地球規模の環境問題について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。		
		8週	地球規模の環境問題	3.地球規模の環境問題について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。		
	2ndQ	9週	循環型社会	3.循環型社会について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。		
		10週	地域の環境問題	3.地域の環境問題について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。		
		11週	化学物質・放射能	3.化学物質、放射能について環境保全の視点から現状と課題を説明できる。		
		12週	環境保全の基本原則、計画、環境基準、手法	4.環境保全の基本原則、計画、環境基準、環境保全の手法について現状と課題を説明できる。		
		13週	環境教育、環境影響評価	4.環境教育、環境影響評価について現状と課題を説明できる。		

		14週	行政、企業の役割		5.環境保全における行政、企業、市民の協働およびそれぞれの役割を理解し、説明できる。		
		15週	個人、NPOの役割		5.環境保全における行政、企業、市民の協働およびそれぞれの役割を理解し、説明できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計	
総合評価割合	0	65	20	15	0	100	
専門知識	0	65	20	15	0	100	